



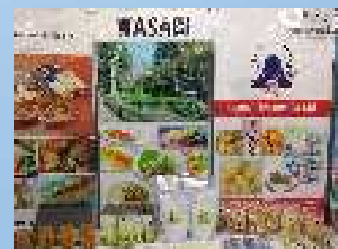
# アウトバウンドへの挑戦

## 「インバウンドからアウトバウンドへ」

2020年の東京オリンピックを見据えた2018年。私たちは「待つ」だけでなく。現地に出て商品を広め、ムスリムを静岡に呼んでいくことも必要だと考えました。そこで「県の海外販路開拓チャレンジ事業」に応募し受託。中東のイスラム国家のバーレーンを拠点にGCC（湾岸諸国）への静岡県産品の輸出と交流を深めることを目的に活動を開始しました。まず両国の大使館を訪問し、その後現地の食品EXPOへ参加。そして11月にバーレーンで初となる静岡県産品を中心とした展示会を単独で主催し、海外への一歩を踏み出しました。

## 「バーレーン王国を拠点にした理由」

バーレーンはアラビア湾のほぼ中央に位置するイスラム教の島国です。面積は約770km<sup>2</sup>、人口は約150万人（静岡県7,777km<sup>2</sup>、約374.万人）。小国ながら湾岸協力理事会（GCC）の古参国で議長も務めています。拠点にした理由は、担当者と20年以上の草の根交流があり、現地の企業や団体等との協力体制が整ったこと。日本の大手が参入し競争が激化しているドバイより、サウジアラビアほかのGCC加盟国を狙え、人々も穏やかなバーレーンのほうが有利であると考えたからです。



## 「両国大使館への訪問と現地EXPOへの参加」

輸出を検討するにあたり、8月にバーレーン日本大使館、9月には在バーレーン日本大使館、バーレーン日本ビジネス友好協会、バーレーン商工会議所等を訪問し、協力を要請しました。10月にはバーレーン最大の食品見本市「レストラン&ホスピタリティショー」に日本から唯一参加し「食の都・静岡」をPRするポスターやチラシを設置。静岡県の特産物である緑茶や和菓子等の試食を行うとともに、11月に弊社が主催予定の展示会「Japanese (Shizuoka Pref.) Food & Craft Exhibition Under the auspices of the EMBASSY OF JAPAN Kingdom of Bahrain」への参加を呼びかけました。

## 「11月の展示会へ向けて」

この活動を通じ草の根であった交流が公的なものへと発展しました。11月に弊社が主催を予定していた静岡産品を中心とする展示会に対し、在バーレーン日本大使館が後援を許可をくださり、現地の関係団体からも協力を得ることができました。10月に出展したEXPOでは、通常では会うことのできない食品関係会社50社以上と名刺交換ができ、11月の展示会を案内することができました。また山や川のないバーレーンの方々にとって静岡の富士山や緑に囲まれた風景は非常に新鮮に映り、是非行ってみたいとの声が来訪者から多く聞かれました。

